

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 清流の国ぎふ地域活動促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 恵みの森づくり推進課 恵みの森づくり係

電話番号：058-272-1111 (内 3012)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,000 千円 (前年度予算額：102,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	102,500	0	0	0	0	0	102,500	0	0
要求額	30,000	0	0	0	0	0	30,000	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・平成24年度から本県の自然環境を保全・再生し、森林や河川の持つ公益的機能をより高める取組を進めるため清流の国ぎふ森林・環境税を導入。
- ・その中で地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進のため、団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくり・川づくり活動への支援を実施する。

※これまで実施していた市町村を対象とした支援は、他課所管事業でメニュー化し実施予定。

(2) 事業内容

【地域活動促進事業】

補助対象事業：団体等が提案する森づくりや川づくり活動※

事業主体：県内で活動をする地域団体や法人

補 助 率：補助対象経費 500 千円以下の部分は 10 / 10 以内、補助対象経費 500 千円を超える部分は 1 / 2 以内

補助限度額 (1 事業あたり)：上限 2,000 千円、下限 300 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

清流の国ぎふ森林・環境基金対象事業

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	109	業務旅費
需用費	91	事務用品代
役務費	200	通信運搬費
補助金	29,600	清流の国ぎふ地域活動促進事業
計	30,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1)地域の魅力の創造・伝承・発信 - ②美しく豊かな環境の保全・継承

- ・第3期岐阜県森林づくり基本計画

第7章 1 健全で豊かな森林づくりの推進

(3)森林空間の利用の促進（里山林の保全・利用の促進）

(2) 国・他県の状況

- ・平成15年度に高知県で導入されて以来、現在37府県で導入している。
- ・令和元年度より、国の森林環境譲与税が導入された。

(3) 後年度の財政負担

課税期間である令和8年度まで税収に応じ事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

森づくり・川づくり活動を自ら企画・立案・実行する団体に対し支援を実施することで、地域のニーズに基づいた環境保全活動を促進することができる。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	清流の国ぎふ地域活動促進事業費
補助事業者（団体）	県内で活動する地域団体・法人 (理由) 地域のニーズに基づいた環境保全活動に取り組む地域団体に対し支援を実施
補助事業の概要	(目的) 地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進 (内容) 団体等が自ら企画・実行する創意工夫ある森づくり・川づくり活動を支援
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 (例: 人件費相当額) (内容) 地域団体等: 補助率 10/10 以内または 1/2 以内 下限 300 千円 上限 2,000 千円 (理由) 地域のニーズに基づく環境保全活動促進のため
補助効果	地域の実情に沿った環境保全活動の促進
終期の設定	令和 8 年度 (理由) 清流の国ぎふ森林・環境税の終期であるため

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が主体的に森づくり・川づくりに取り組む ・ それにより、住民協働による緑豊かな「清流の国ぎふ」づくりを進める。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	
	(R)	実績	目標	目標	(R4~8)	達成率
活動支援件数	—	49	40	50	250	0%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	21,423 千円	23,304 千円	20,985 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<p>新規団体の増加を狙い、R1.10,11に県内3箇所において事業説明会を開催した。その結果、令和2年度事業の支援件数は新規団体が実施した5件を含む49件の実績となった。また、R2.10に県内4箇所で令和3年度事業の説明会を開催し、結果、新規16団体を含む63団体から63件の応募があり、62件を採択した。</p> <p>指標① 目標：40件 実績：49件 達成率：123%</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>計画件数を上回る応募があり、県民のニーズが非常に高い事業である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2:期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1:期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0:ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 3	<p>計画を上回る件数の支援を実施しており、地域が主体となった環境保全活動の促進につながっている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>事業の採択にあたり、必要性や効果などの観点から厳格な審査を行うとともに、事業評価審議会の意見を踏まえ、効果的、効率的な事業を採択している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症拡大によって地域活動に制限がかかり、団体が思うような活動を実施できないことが増えている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 応募件数からみて県民のニーズは高く、事業評価審議会からも高い評価を受けている事業であり、継続すべき事業である。</p>
